

# ユニセフ・チャリティーコンサート

Benefit Concert

## 第1部

### ■吹奏楽 指揮：アンドレ・アンリ

A.ゲディケ / トランペットのための演奏会用練習曲 ト短調 op.49

A.Goedicke / Konzert-Etüde

トランペット：アンドレ・アンリ

J.マスネ / 歌劇「タイス」より タイスの瞑想曲

J.Massenet / Méditation de Thais

F.A.ボイエルデュ / 歌劇「バグダットの太守」より 序曲

F.A.Boieldieu / Le Calife de Bagdad Overture

## 第2部

### ■ア・カペラ合唱 指揮：広瀬 宣行

アメリカ民謡 アメイジング・グレイス

Amazing Grace(American Folk Hymn)

武満徹 / 小さな空

Toru Takemitsu / Small Sky

### ■ピアノ五重奏

A.ドヴォルザーク / ピアノ五重奏曲 イ長調 op.81より 第1・4楽章

A.Dvořák / Piano Quintet No.2 op.81

1st ヴァイオリン：辻 彩奈 2nd ヴァイオリン：関 朋岳

ヴィオラ：四家 絵捺

チェロ：金子 大葉

ピアノ：近藤 愛花

### ■女声合唱 指揮：坂本 和彦

ソプラノ：清水 理恵

ピアノ：只野 なつき フルート：清水 伶

J.シュトラウス(2世) / オペレッタ「こうもり」より

J.Strauss(II) / Operette "Die Fledermaus"

イントロダクション チャールダーシュ シャンパンの歌

Introduction

Csárdás

Finale II

## 第3部

### ■オーケストラ 指揮：三原 明人

F.リスト / 交響詩「前奏曲」

F.Liszt / Les Préludes

S.ラフマニノフ / パガニーニの主題による狂詩曲 op.43

S.Rachmaninov / Rhapsody on a theme of Paganini op.43

ピアノ：藤田 真央

※都合によりプログラムが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

2015/12/3(木) 18:00開演 (17:30開場) 入場料：1,000円 [全席指定]

# 東京芸術劇場コンサートホール

「JR」「東京メトロ」「東武東上線」「西武池袋線」池袋駅西口より徒歩2分。地下通路2b出口と直結しています。

東京音楽大学付属高等学校は、黒柳徹子さんの活動に賛同し、この演奏会の収益から入場料の半額をUNICEF(国連児童基金)を通じて世界の子どもたちのために使わせていただきます。

主催：東京音楽大学付属高等学校

後援：豊島区教育委員会・文京区教育委員会・UNICEF(国連児童基金)東京事務所・東京音楽大学後援会・東京音楽大学校友会・東京音楽大学付属高等学校後援会

お問い合わせ：東京音楽大学付属高等学校チャリティーコンサート係 Tel.03-3945-6214

チケット前売り(9月7日発売)：東京芸術劇場ボックス オフィス Tel.0570-010-296 東京音楽大学A館地下カワイ売店(店頭販売のみ) Tel.03-5954-1970



ピアノ 藤田 真央

ソプラノ 清水 理恵

関 朋岳

四家 絵捺

辻 彩奈

近藤 愛花

金子 大葉

指揮 アンドレ・アンリ

指揮 広瀬 宣行

指揮 坂本 和彦

指揮 三原 明人

## ごあいさつ



UNICEF親善大使  
黒柳 徹子

東京音楽大学付属高校の皆さんが継続してチャリティーコンサートを開催されていることを、東京音楽大学の卒業生でもある私は大変誇らしく思い、今年の開催も楽しみにしていました。今年、国際協力の世界では大変重要なことがありました。貧困撲滅などに向けて、国際社会が今後15年で目指すべき目標を策定したのです。UNICEFは、世界中の子どもたち、特に極度の貧困下にあったり最も厳しく支援が届きにくい環境にある子どもたちの状況が改善されるように目標達成に努力していきます。

この四半世紀をみると、世界では大きな進展がありました。例えば、1990年と比べて5歳未満で死亡する子どもの数は半数以下に減り、小学校に通えない子どもの数も半数近くに減りました。皆様から頂いたご支援は、確実に結果を出しているのです。しかし、UNICEFの使命が終わったわけではありません。今でも世界で600万人の子どもたちが5歳の誕生日を迎えることなく死亡し、5800万人の子どもたちが初等教育を受けられずにいます。そして、紛争や自然災害が原因で厳しい状況に置かれている子どもたちが多くいることも忘れてはいけません。今年4月に大地震に見舞われたネパールが記憶に新しいところです。

私は、UNICEF親善大使として2009年にネパールを訪問しました。あの時出会った子どもたちはどうしているのか。大地震の知らせを聞いて、真っ先にあの子たちの顔を思い浮かべました。そして、私はまだ出会っていない何千もの子どもたちが、私たちの支援を必要としているということも、このメッセージを書いている現在、ネパールをまた視察したいと考えています。もし視察できたら、一人でも多くの子どもたちに会い、彼らの話に耳を傾け、そして抱きしめてあげたい。日本から来たのよ、みんなあなたたちのことを心配していますよ、と伝えたいと思っています。皆さんも、このコンサートの音色に耳を傾けながら、どうか世界の子どもたちに思いを馳せてください。そして、私たちの活動に一層のご支援を頂けますたら幸いです。

## 清水 理恵 [ソプラノ]

東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学卒業、東京音楽大学研究生修了。2003年、2011年、イタリア・ボローニャに短期留学。第41回日伊音楽コンクール第2位、第7回東京音楽コンクール声楽部門第1位、及び聴衆賞を受賞。これまでに、「椿姫」ヴィオレッタ、「リゴレット」ジルダ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、「愛の妙薬」アディーナ、「魔笛」パミーナ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル等のオペラに出演。藤原歌劇団公演に於いては、「ファルスタッフ」ナンネッタ、「オリイ伯爵」アリス、「ランスへの旅」フォルヴィル伯爵夫人にて出演。また、第九、モーツァルト「戴冠ミサ」、フォーレ「レクイエム」、ヴィヴァルディ「グロリア」等のソプラノ・ソロを務める。藤原歌劇団団員。

## 藤田 真央 [ピアノ]

3才よりピアノを始め、これまでに松山優香氏、9才より松山元氏に師事し現在に至る。2009年第19回日本クラシック音楽コンクール全国大会グランプリ、「世界クラシック2010」(台湾)へ日本代表として出場、ジュニア部門第1位。2010年第64回全日本学生音楽コンクール小学校の部東京大会第1位、全国大会第1位。併せて野村賞、井口愛子賞、音楽奨励賞、横浜市民賞(聴衆賞)を受賞。2013年8月、第5回サリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクールにおいて日本人初の第1位、併せてワグナー・ヴェルディ賞を受賞(オーストリア・ウィーン)。国内外で演奏活動を行っており、多数のジョイントコンサートや津田ホール、アブリコホール等でのソリサイタル、ショパン国際音楽祭(ポーランド)、世界のアッジジ音楽祭(イタリア)、パート・ラガツツ次世代音楽祭(スイス)等に招かれ出演。オーケストラとの共演では、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団等と共演し、演奏経験を積んでいる。2013年11月にナクソスジャパンよりデビューアルバム「MAO FUJITA」(NYCC-10001)を発表。2015年9月に同ナクソスジャパンよりセカンドアルバムをリリース予定。現在、特別特待奨学生として東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コース・エクセレンス2年在学中。

## 辻 彩奈 [ヴァイオリン]

第9回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。第63回全日本学生音楽コンクール小学校の部名古屋大会第1位、全国大会第1位、併せて東儀賞、兎東賞を受賞。第82回日本音楽コンクール第2位。第9回インディアナポリス国際コンクールにて最年少セミファイナリスト、バガニーニ賞第2位を受賞。2015年第11回ソウル国際音楽コンクール第2位(最高位)。2011年IMA奨励賞、2012年IMA音楽賞を受賞。これまでに、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、横浜シフォニエッタ、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、チェコフィルハーモニー室内楽団、Sejong Soloistsなどと共演。現在、東京音楽大学付属高等学校3年に特別特待奨学生として在学中。これまでに小林健次、矢口十詩子、中澤さみ子、小栗まち絵、原田幸一郎の各氏に師事。

## 関 朋岳 [ヴァイオリン]

第64回全日本学生音楽コンクール小学生の部東京大会第1位。第20回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位(最高位)。第65回全日本学生音楽コンクール中学生の部東京大会第1位。これまでに、モーツァルト、メンデルスゾーン、ブラームスの協奏曲をオーケストラと共演したほか、リサイタルやサロンコンサートに出演。現在、東京音楽大学付属高等学校2年に特別特待奨学生として在学中。これまでに原田幸一郎、神谷美千子、小林健次の各氏に師事。

## 四家 絵捺 [ヴァイオリン]

8歳よりヴァイオリンを始め、堀明日美、西田博、中澤さみ子の各氏に師事。2012年長野国際音楽祭に参加。マスタークラス終了後、講師推薦によりスチューデントコンサートに出演。2015年奨学金を得て、バイエルン州立青少年オーケストラの40周年ツアーに参加、ミュンヘンやベルリンなど7都市で公演。現在、東京音楽大学付属高等学校2年(ヴァイオリン専攻)に在学中。横山俊朗、大谷康子の両氏に師事。

## 金子 大葉 [チェロ]

10歳よりチェロを始める。これまでに、小川剛一郎、ドミトリー・フェイギンの各氏に師事。ヨーロッパ研修旅行にて、ミハル・カニユカに習う。中学まで、しょうわジュニア・オーケストラに参加。現在、東京音楽大学付属高等学校3年に在籍中。

## 近藤 愛花 [ピアノ]

3歳よりピアノを始める。2006年第10回エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール(ドイツ)カテゴリーA第5位。2008年ショパン子どものための国際ピアノコンクール(ポーランド)カテゴリーA第1位、併せてコンチェルト賞受賞。2010年横浜国際音楽コンクール中学生の部第1位。2011年ショパン国際ピアノコンクールin AsiaコンチェルトB部門大会銀賞。2013年ちば音楽コンクール高校生部門第1位。第15回日本演奏家コンクール高校生A部門第3位、併せて名古屋市教育局賞受賞。現在、奨学生として東京音楽大学付属高等学校3年に在学中。東誠三、石井克典の両氏に師事。



只野 なつぎ [ピアノ]

東京音楽大学卒業、同大学院鍵盤楽器研究領域(伴奏)修士課程修了。第8回日本アンサンブルコンクール室内楽部門入選。イタリア・ボローニャでのコンサート出演や、フランス・クールシェパール夏期セミナーに参加し研鑽を積む。2007年より郷里の福島にて毎年リサイタルを行っている。これまでにピアノの河邊亮子、鷺見加寿子、伴奏法・室内楽を土田英介、水谷真理子、浦川宜也の各氏に師事。現在、東京音楽大学非常勤講師、同大学付属高等学校講師。弦楽器や声楽の伴奏を中心に室内楽やピアノソロなど幅広く演奏活動を行っている。



清水 伶 [フルート]

9歳よりフルートを始める。2012年、第66回全日本学生音楽コンクール中学生の部全国大会第1位。2013年夏休みオーケストラにて飯森範親氏指揮東京交響楽団と共演。第23回日本クラシック音楽コンクール中学生の部全国大会第1位。2014年第68回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。現在、東京音楽大学付属高等学校2年に特別特待奨学生として在学中。これまでに堀井恵、神田寛明、工藤重典の各氏に師事。2015年度ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。

## アンドレ・アンリ [指揮 / トランペット]

フランスに生まれ、M.アンドレのレコードを教師に、独学で12歳よりトランペットを始める。その後、アヴィニョン国立高等音楽院でトランペット、ホルネット共に1位を獲得。これを機に世界各国で演奏会を行い、多くのコンクール優勝者リストに名を連ねてきた。また教育にも多くの情熱を注ぎ、パリ高等音楽院、ポルトアレグロ音楽大学、パレンシア音楽院をはじめヨーロッパ、アジアの教育機関で教鞭をとってきた。現在、東京音楽大学教授。＜受賞歴＞リヨン・キワニスクラブ名手コンクール1位、ローズ・アルプスコンクール1位、トゥーロン国際コンクール1位、世界音楽コンクール1位、ジュネーブ国際コンクール優勝。

## 広瀬 宣行 [指揮]

東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)卒業。1983、84年NHK・FMリサイタルに出演。96年モーツァルトテウム国立音楽大学アカデミーにてコレペティトゥールの研鑽を積む。ヴァイオリンの大谷康子、ヴィオラの兎東俊之、G.ハーマー、トロンボーンの前藤孝司、G.ヘルソンスキー、バスの岡村喬生氏等、数多くの一流ソリストと共演。「東京国際ピアノコンクール」「ローゼンストック国際ピアノコンクール」「グレンツェンピアノコンクール」等の審査員を務める。2002~03年、NHK学園にて「ゴスペル講座」の講師。著書に「ピアノ初見演奏法」がある。東京音楽大学准教授及び同付属高等学校講師。

## 坂本 和彦 [指揮]

日本オペラ振興会会員指揮者。公益法人としま未来文化財団音楽監督。日本指揮者協会監事及び事務局長。日本オペラ振興会歌手育成部講師及び指揮者。東京音楽大学、同付属高校講師。大学在学中、チューリッヒに留学。同地歌劇場にて四年半学ぶ。1994年には、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンドイツ交響楽団にて研鑽を積む。2012年には、ローザンヌにて、スイスロマン管弦楽団と共演。2011年8月デビューした女性だけのパフォーマンスオーケストラ「G・dream21」の音楽監督、指揮者を務める。皇居にて行われた天皇陛下即位20年、御成婚50年をお祝いするにあたり作曲された「太陽の国」(東京都交響楽団、EXILE歌唱)の御前演奏の指揮者を務めた。

## 三原 明人 [指揮]

ヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京藝術大学でヴァイオリンを専攻。同大学卒業後、桐朋学園大学とウィーン国立音楽大学で指揮を学ぶ。1989年第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールで第2位入賞。アムステルダムでオランダ放送フィルを指揮してデビュー以降、ヨーロッパと日本を中心に各地で指揮活動を展開する。また、バーンスタインやアバドのアシスタントを務め研鑽を積む。その後、フィンランド・クオピオ響、ソフィア・フィルなどのオーケストラを指揮する。現在、東京音楽大学指揮助手、同付属高等学校講師を務め、高校オーケストラの指導にあたっている。